

## 第 27 節 形成外科研修〔選択科向け研修〕

### 一般目標

一般的臨床研修医として必要な形成外科的基本手技、診断能力と態度を習得する。

### 具体的目標

#### 1. 代表的な形成外科疾患について病態と治療法を理解する

- ① 顔面外傷に対して、創部の評価および顔面骨骨折の診断を行い、基本的な初期治療を行える。
- ② 皮膚、皮下腫瘍について診断し、治療計画を立てられる。
- ③ 潰瘍、創傷（熱傷、褥瘡など）に対し評価を行い、外用薬・創傷被覆材を選択して処置を行うことができる。

#### 2. 基本手技を習得する

- ① 包帯交換の手順を理解し、適切に介助および処置を行うことができる。
- ② 手術の助手を適切に努める。
- ③ 形成外科的縫合法を練習し、上級医の確認を受ける。
- ④ 切創、挫創に対して適切に診断を行い、皮下組織までの浅いものに関して縫合することができる。
- ⑤ 皮膚外科的局所麻酔法、切開法、切除法・縫合法を熟知し、炎症性腫瘍の切開排膿、皮膚小腫瘍の切除縫合術が施行できる。
- ⑥ 陰圧閉鎖療法に適応を理解し、処置を行うことができる

#### 3. 形成外科領域における医療記録を記載できる

- ① 形成外科疾患について病歴・身体所見が記載できる。
- ② 創部の状態を適切に評価し、正確に記載できる。
- ③ 症状の経過を記載できる。

### 実臨床研修

- ① 毎日の回診あるいは申し送りにおいて、入院担当患者について問題点を提示し、指導医、上級医と検討を行う。
- ② 入院担当患者の病歴聴取、診察を行い、カルテに記載し、記載内容、治療方針などについて指導医、上級医と討論、確認を受ける。
- ③ 救急患者、予約外患者の診察にも参加し、自ら病歴聴取、診察を行い、カルテに記載し、記載内容、治療方針などについて指導医、上級医と討論、確認を受ける。
- ④ 症例カンファレンスにおいては、症例を提示し、指導医、上級医との討論を行う。

- ⑤ 多職種とのカンファレンスにより、チーム医療を理解する。

### 研修評価

- ① 上級医、指導医との討論において症例の理解度の評価
- ② 入院患者の診療録での理解度の評価
- ③ 病院の共通の評価用紙での総合的評価

### 形成外科週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前 9:00- 11:30	外来	乳房再建外来	乳腺外科手術	手術	外来 他科手術など
午後 13:30-16: 30	外来	乳房再建外来	乳腺外科手術 13:30-皮膚科カンファ (2)15:30-16:30 フットケア外来 /17:30-フットケア カンファ (2.4) 褥瘡回診	手術	外来手術 (13:30-16:00)